

平成29年度

(平成29年4月～平成30年3月)

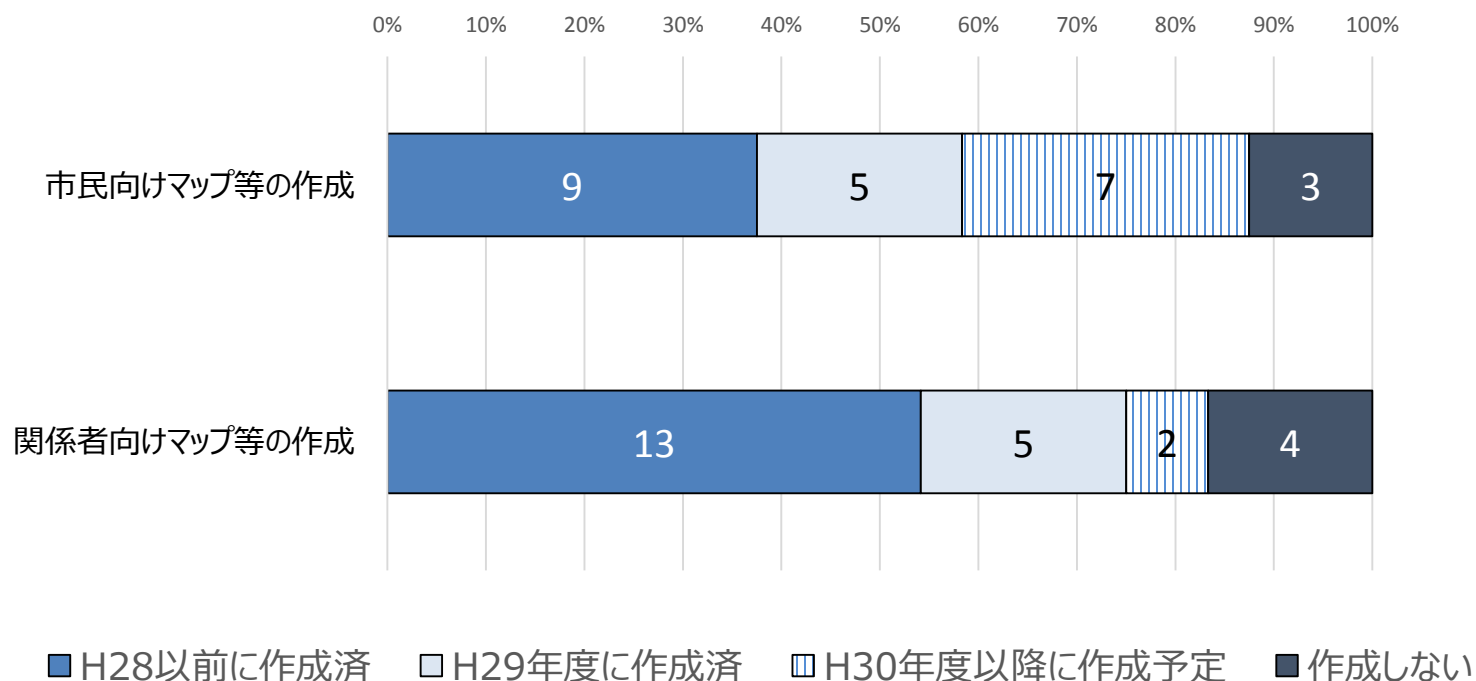
区役所及び相談支援室
取組みについて

（１）区役所における取り組み

（ア） 社会資源の把握

【概要】

- ・地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- ・情報を整理し、リストやマップ等の必要な媒体を選択して共有・活用

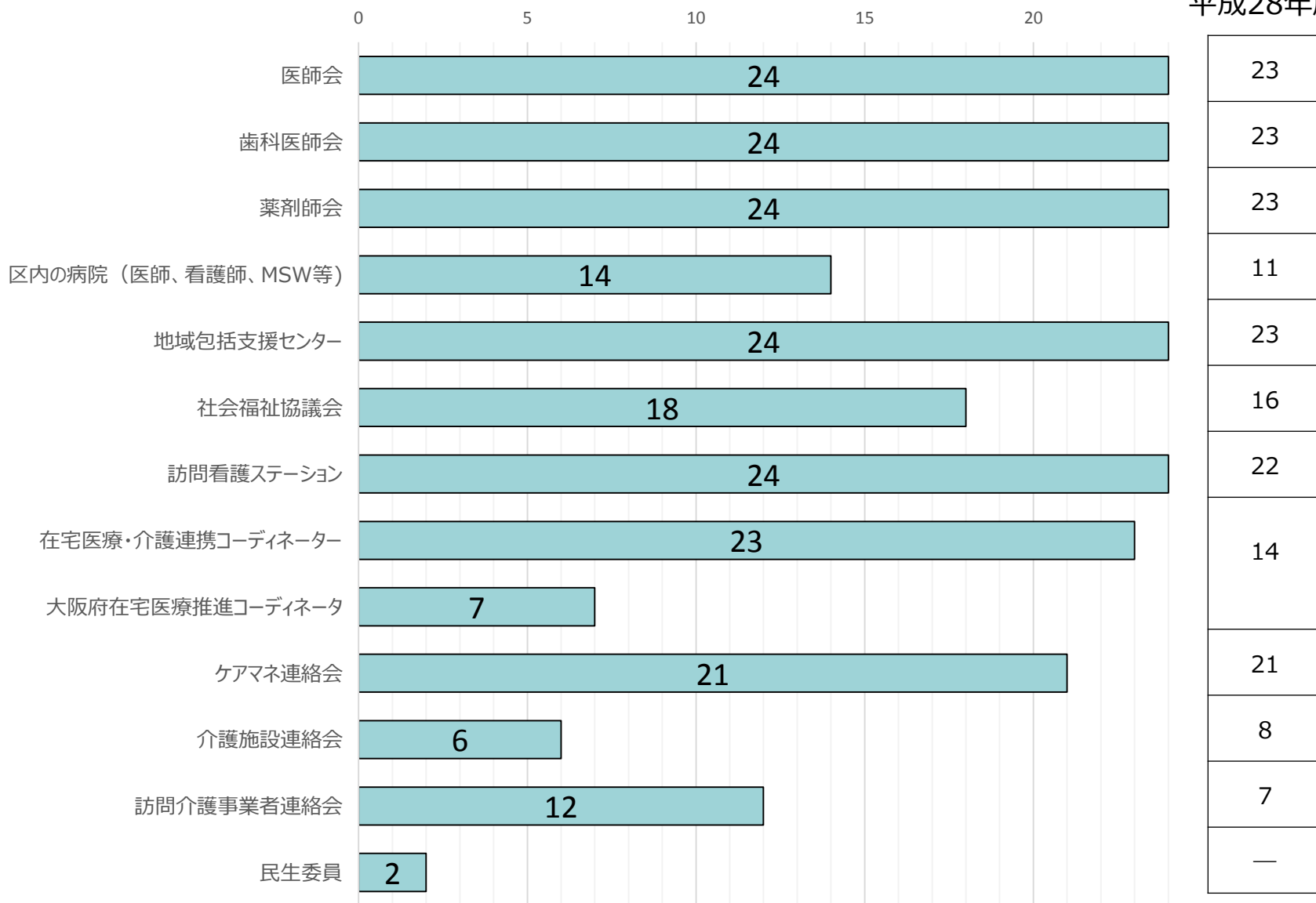


・ 市民向けマップ作成しない理由：他の関係機関が（市民、関係機関向け）作成しているため

(イ) 課題抽出・協議の場

各区在宅医療・介護連携推進会議
(医療介護関係者の参加状況)

(参考)
平成28年度

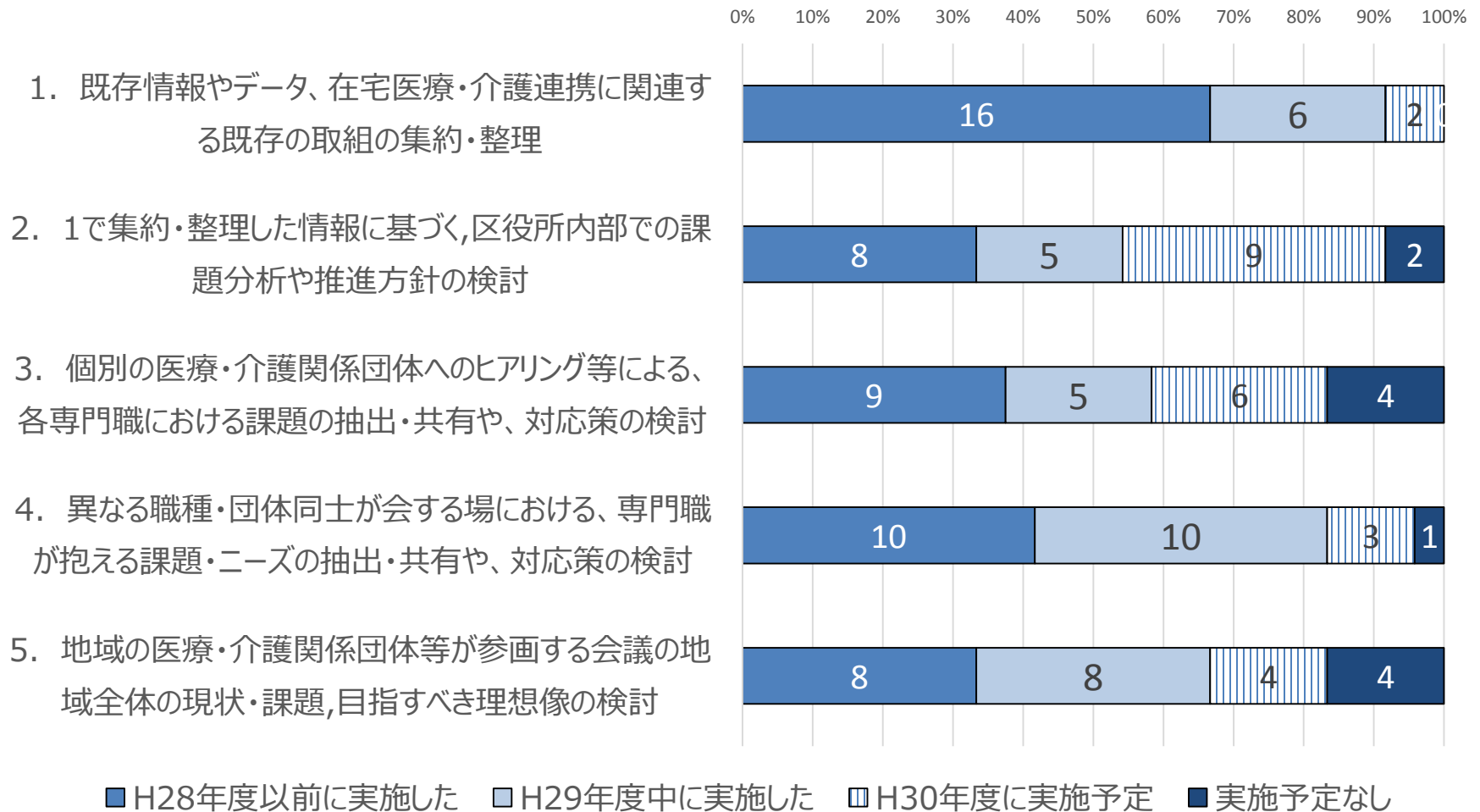


(イ) 課題抽出・協議の場

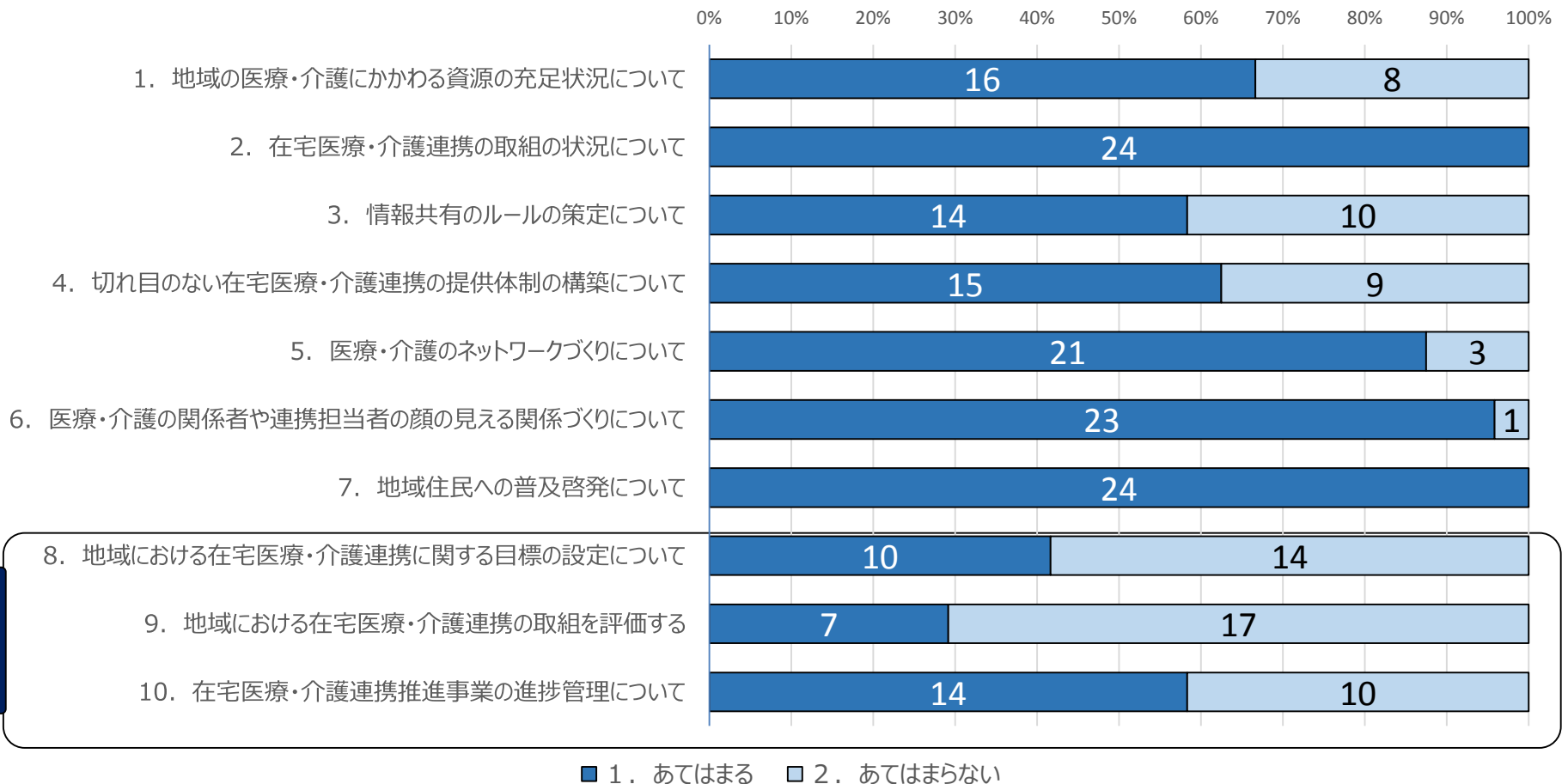
【概要】

- ・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題を抽出、対応策を検討

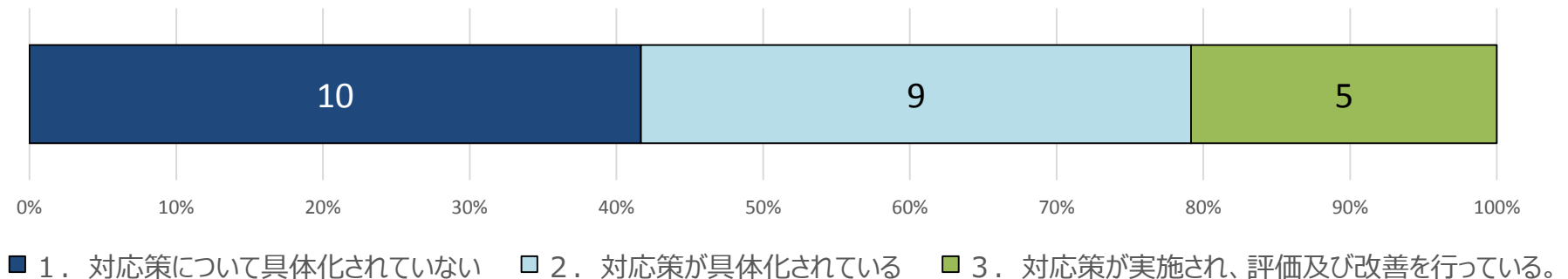
実施状況



会議の内容



対応策の具体化



(力)医療・介護関係者の研修

【概要】

- ・地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ・介護職を対象とした医療関連の研修会を開催

◎開催状況

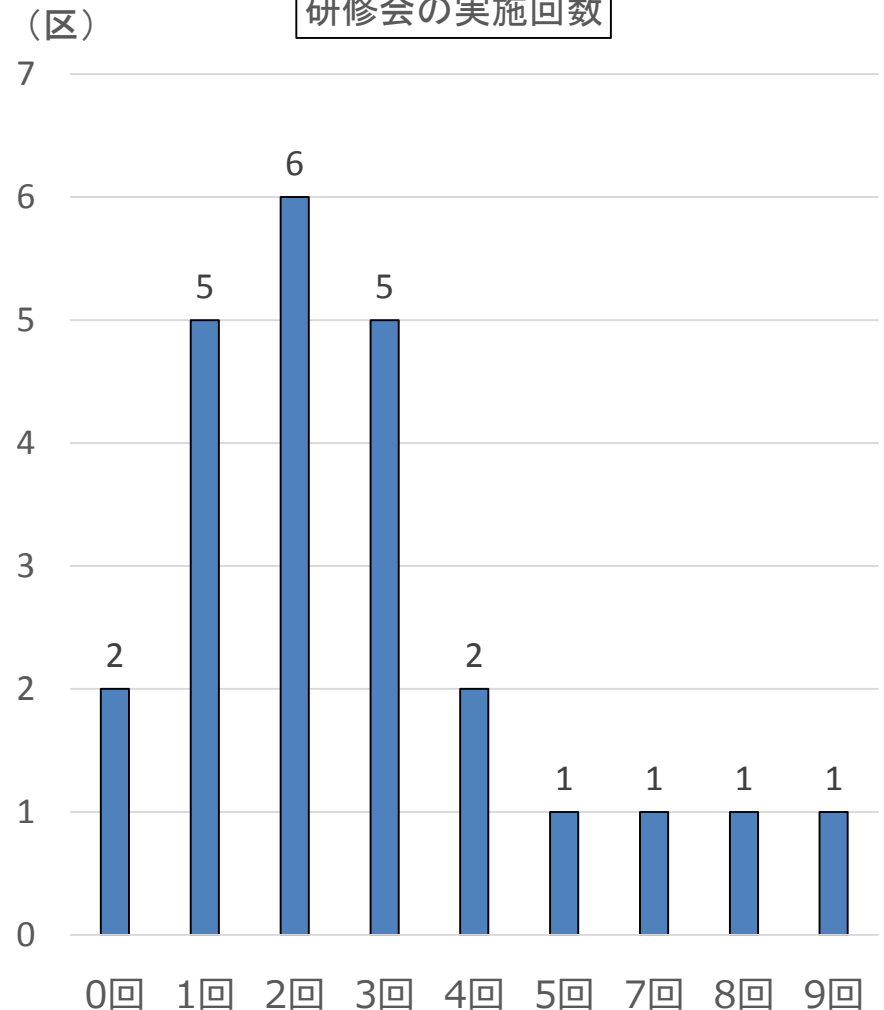
実施（今年度実施予定も含む）
24区

◎主催者（複数回答）

- | | |
|--------|-----|
| ・区役所 | 20区 |
| ・医師会 | 17区 |
| ・歯科医師会 | 17区 |
| ・薬剤師会 | 15区 |

- ・平成29年度未実施区2区
→平成30年度実施予定
(参考)
平成28年度未実施区 4区

研修会の実施回数



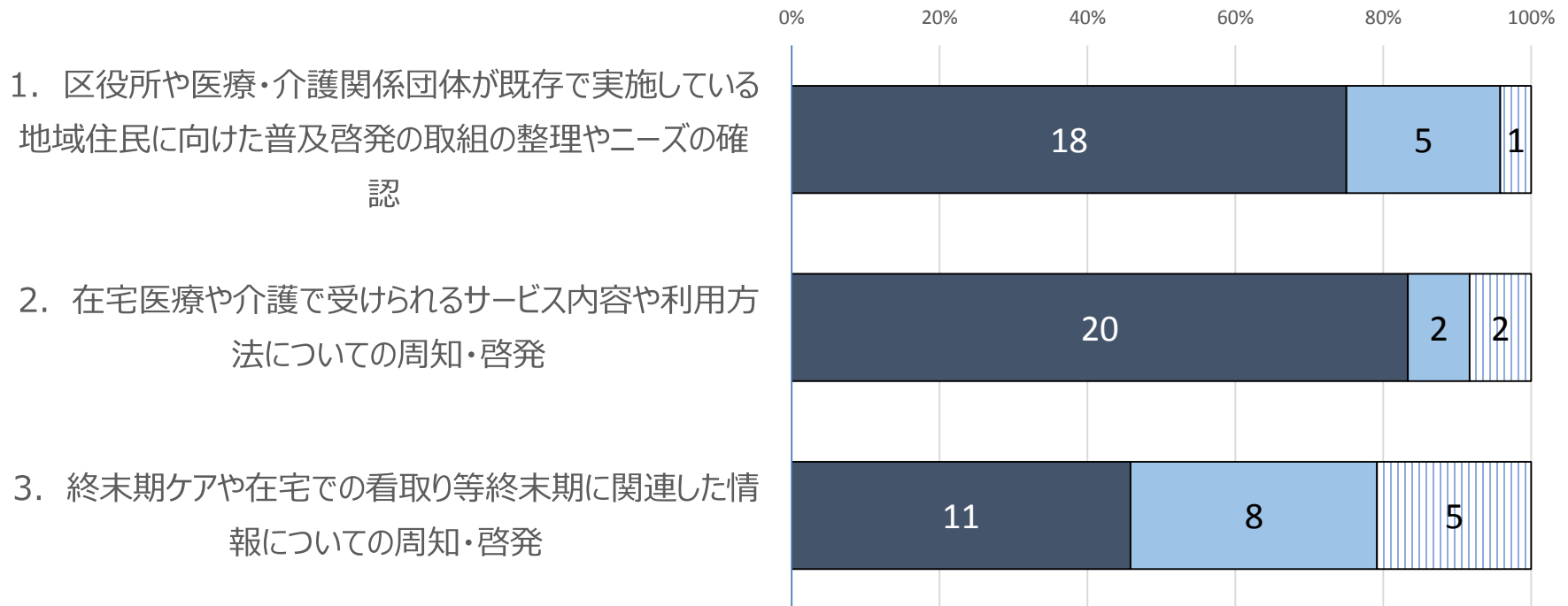
(キ)地域住民への普及啓発

【概要】

- ・地域住民を対象にしたシンポジウム等を開催
- ・パンフレット、区広報紙、HP等を活用した在宅医療・介護連携に関する普及啓発
- ・在宅での看取りについての講習会の開催等

実施 23区

実施内容

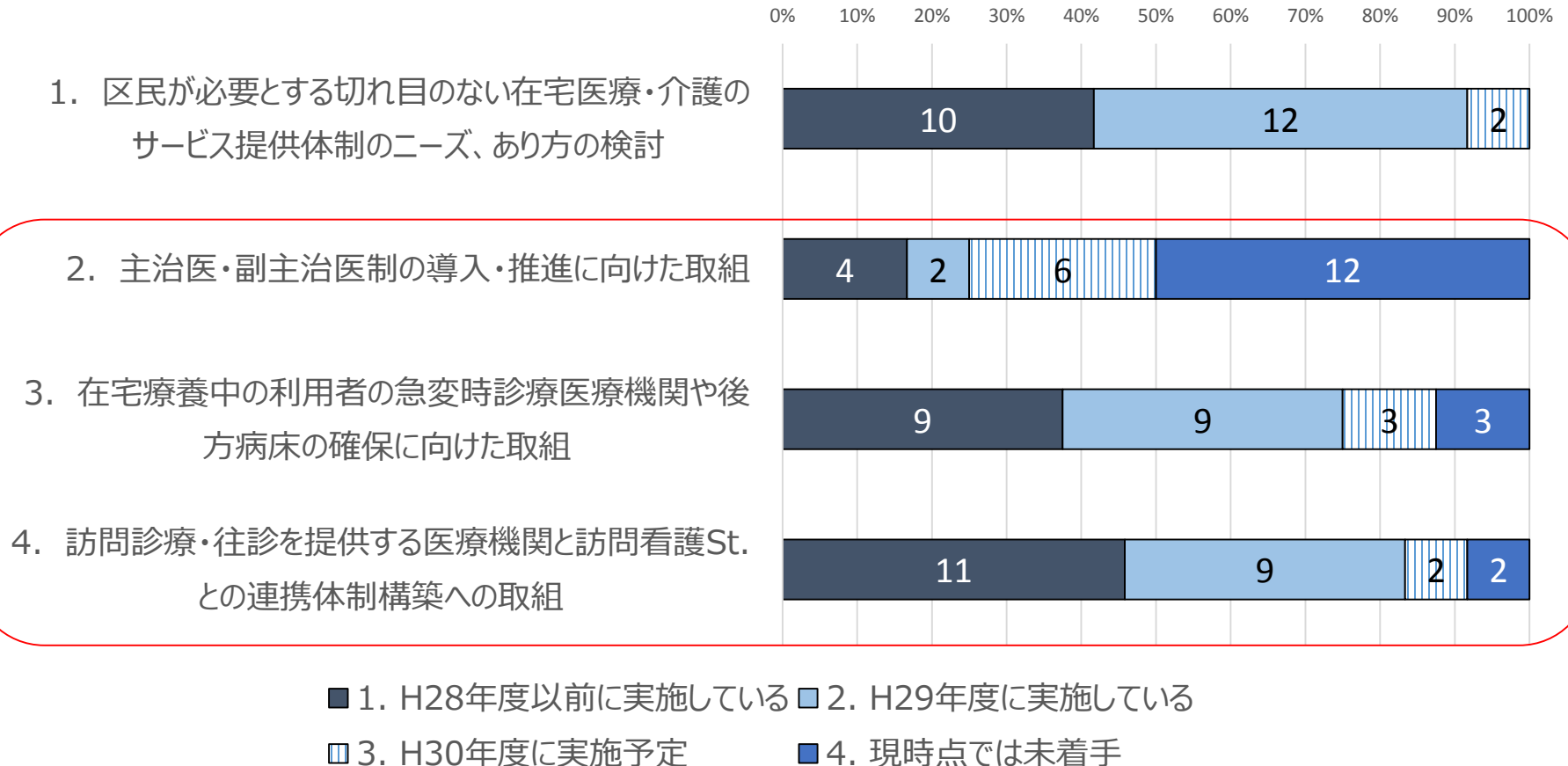


■ 1. 既に実施している ■ 2. 現時点では未実施だが、実施に向けて準備している ▨ 3. 実施の予定はない

・項目2.3いずれも実施予定のない区 1区
→他の団体が実施している

(2) 相談支援室（受託法人）における取り組み

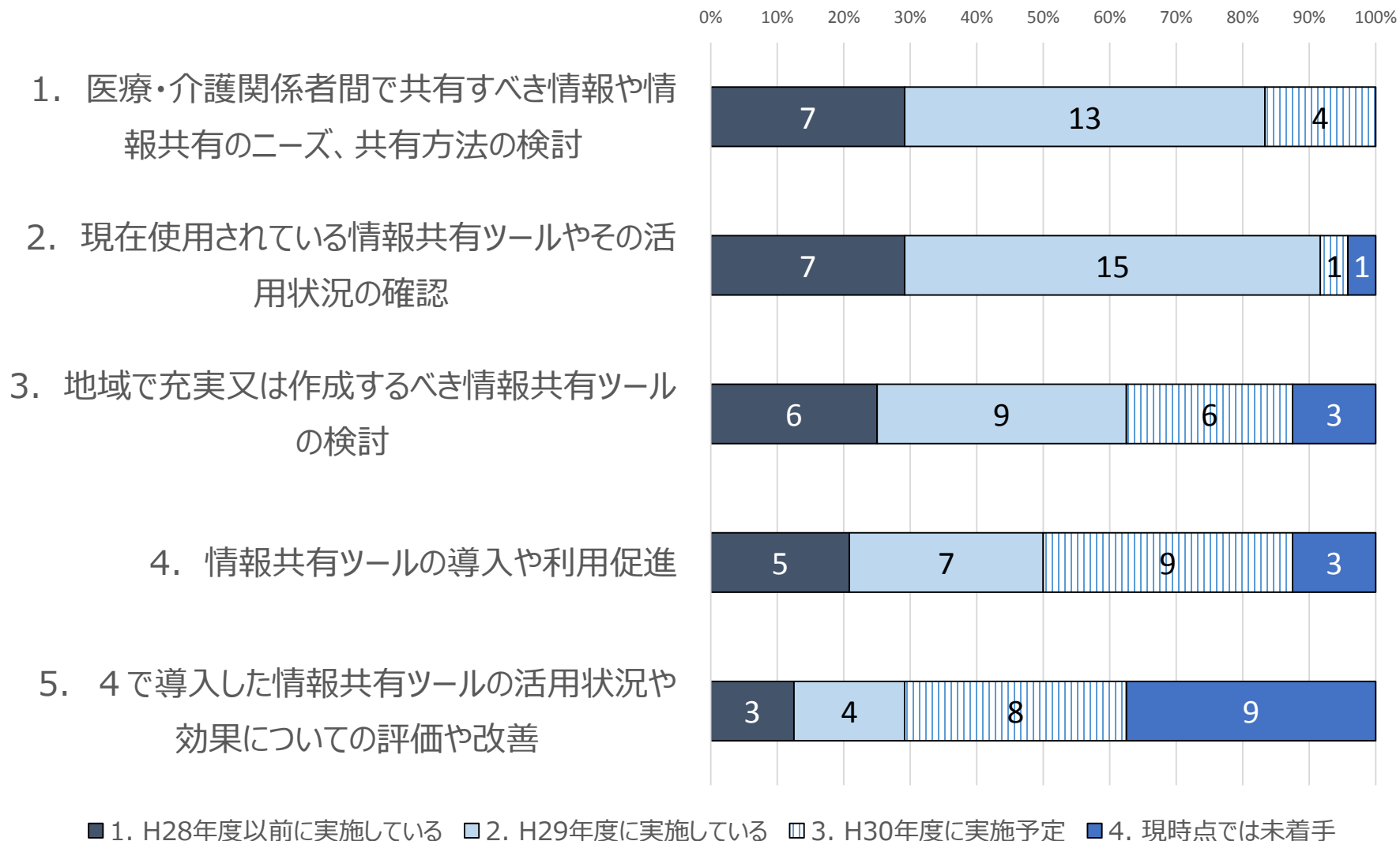
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進



・ 取り組み例 3 つのうち

- ・ 主治医・副主治医制の取り組みは 3割弱
- ・ 後方病床確保や訪問看護St.との連携は 7割以上 が実施

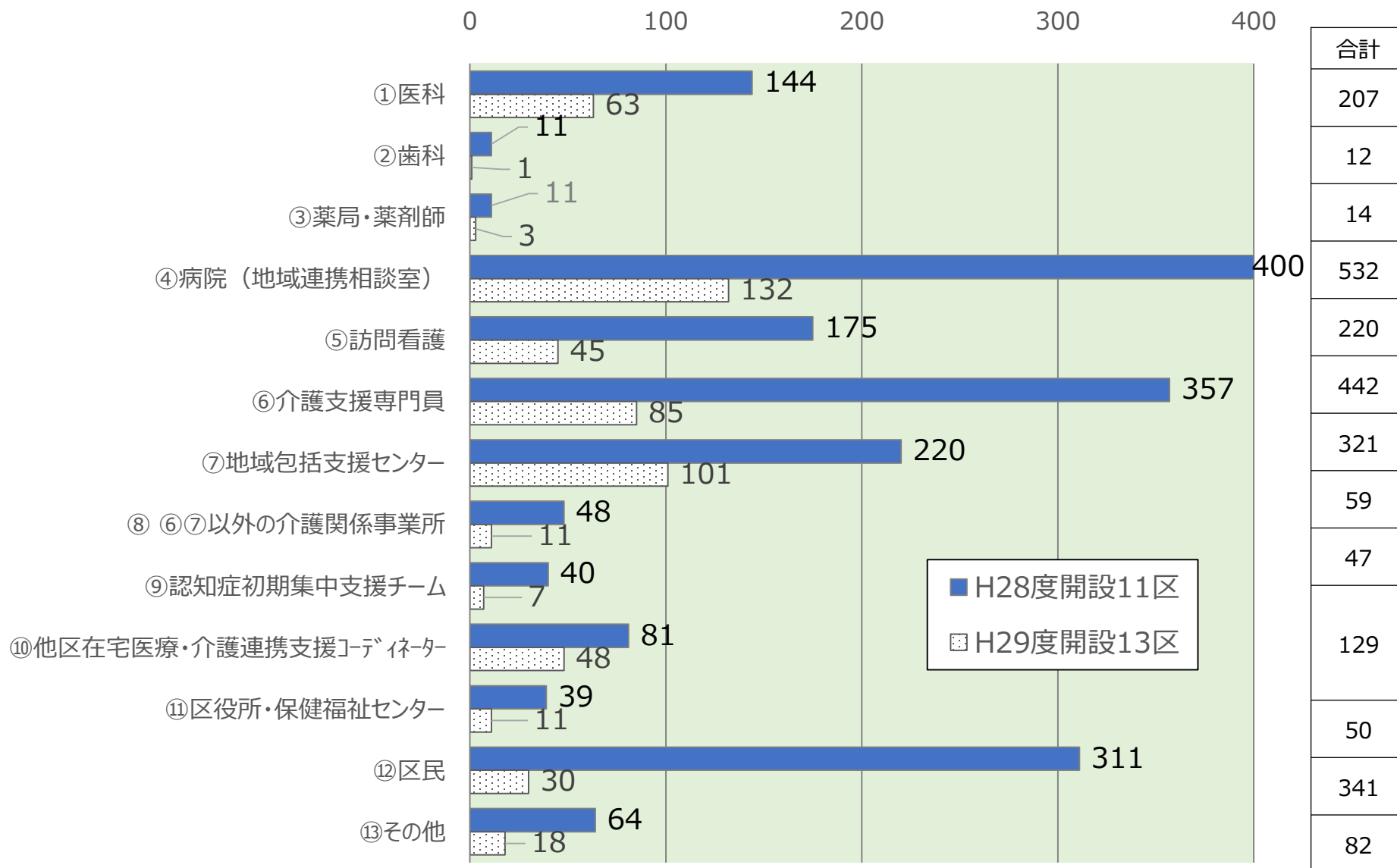
(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援



- ・ 現在使用されている情報共有ツールやその活用状況の確認は概ねできている
- ・ 地域で充実又は作成すべき情報共有ツールの検討をしている区は約6割

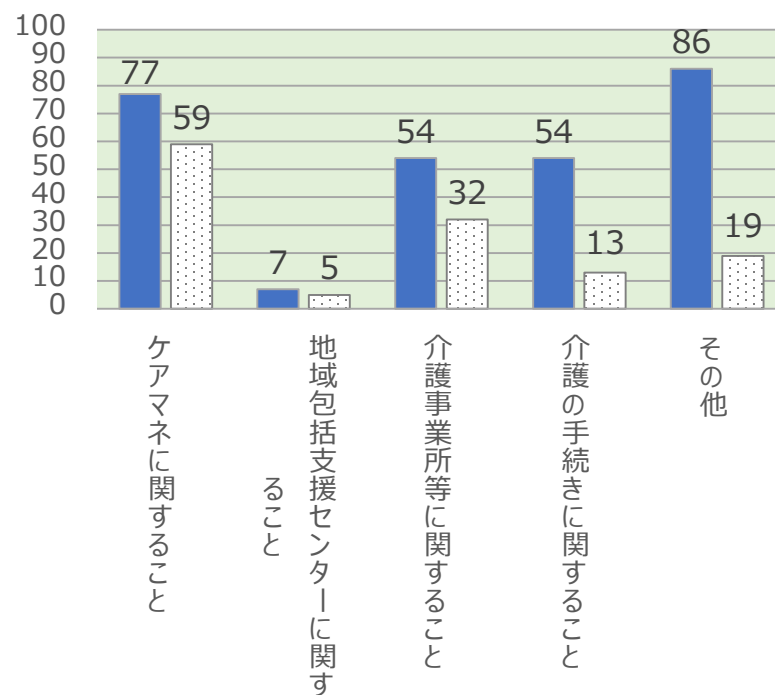
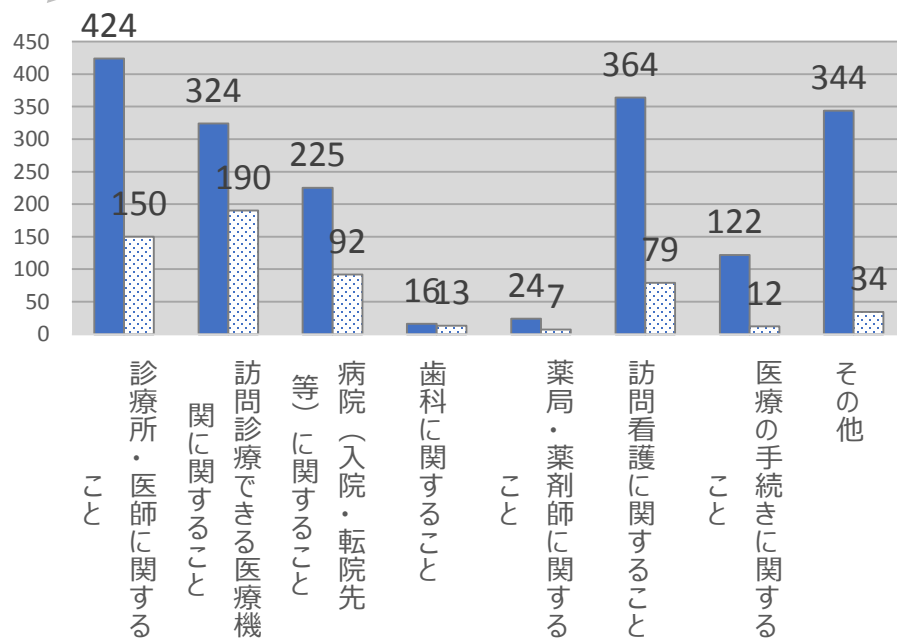
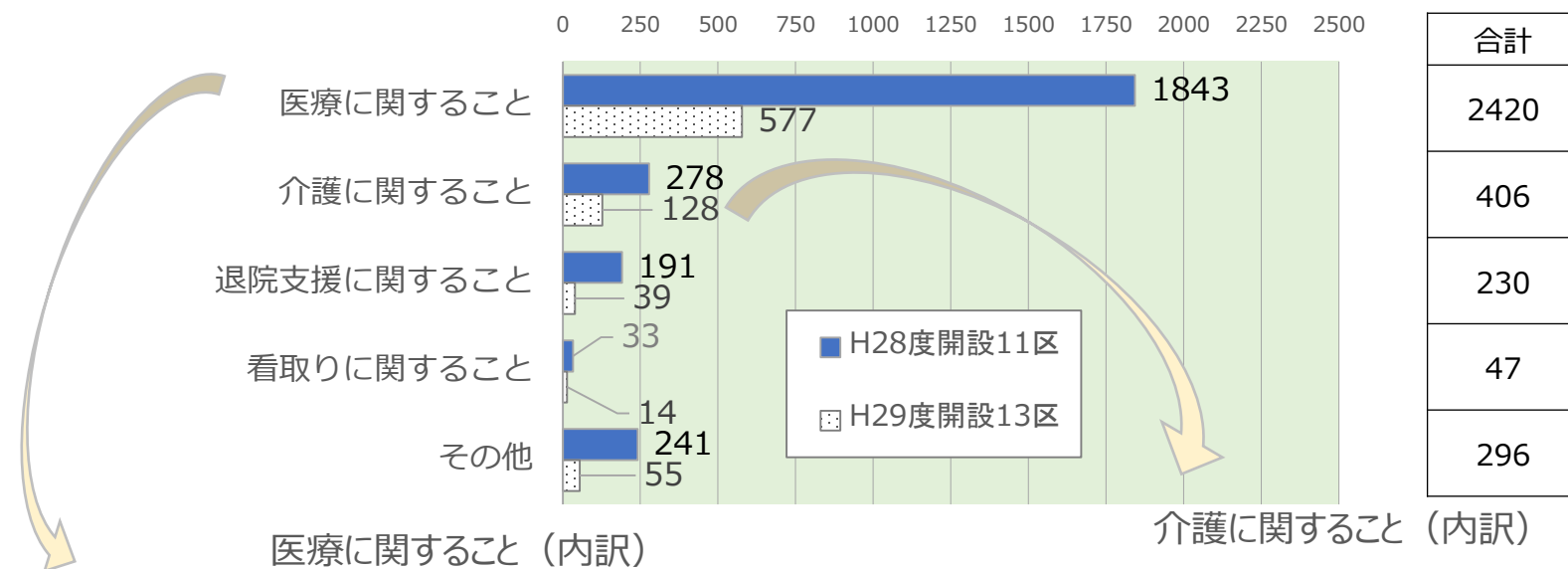
（才）在宅医療・介護連携に関する相談支援の取組状況について

1）個別ケース相談（相談者別内訳）

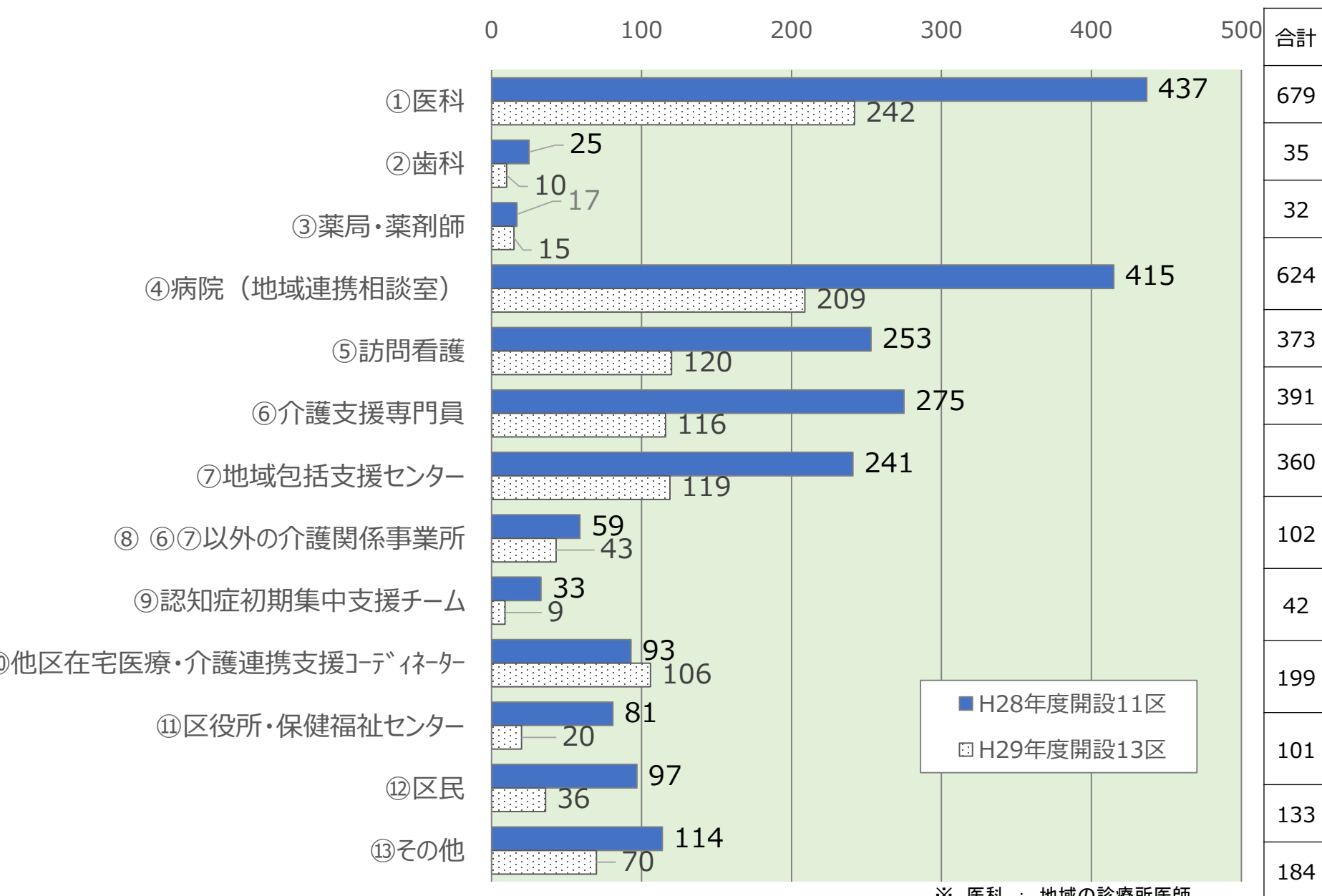


※ 医科：地域の診療所医師

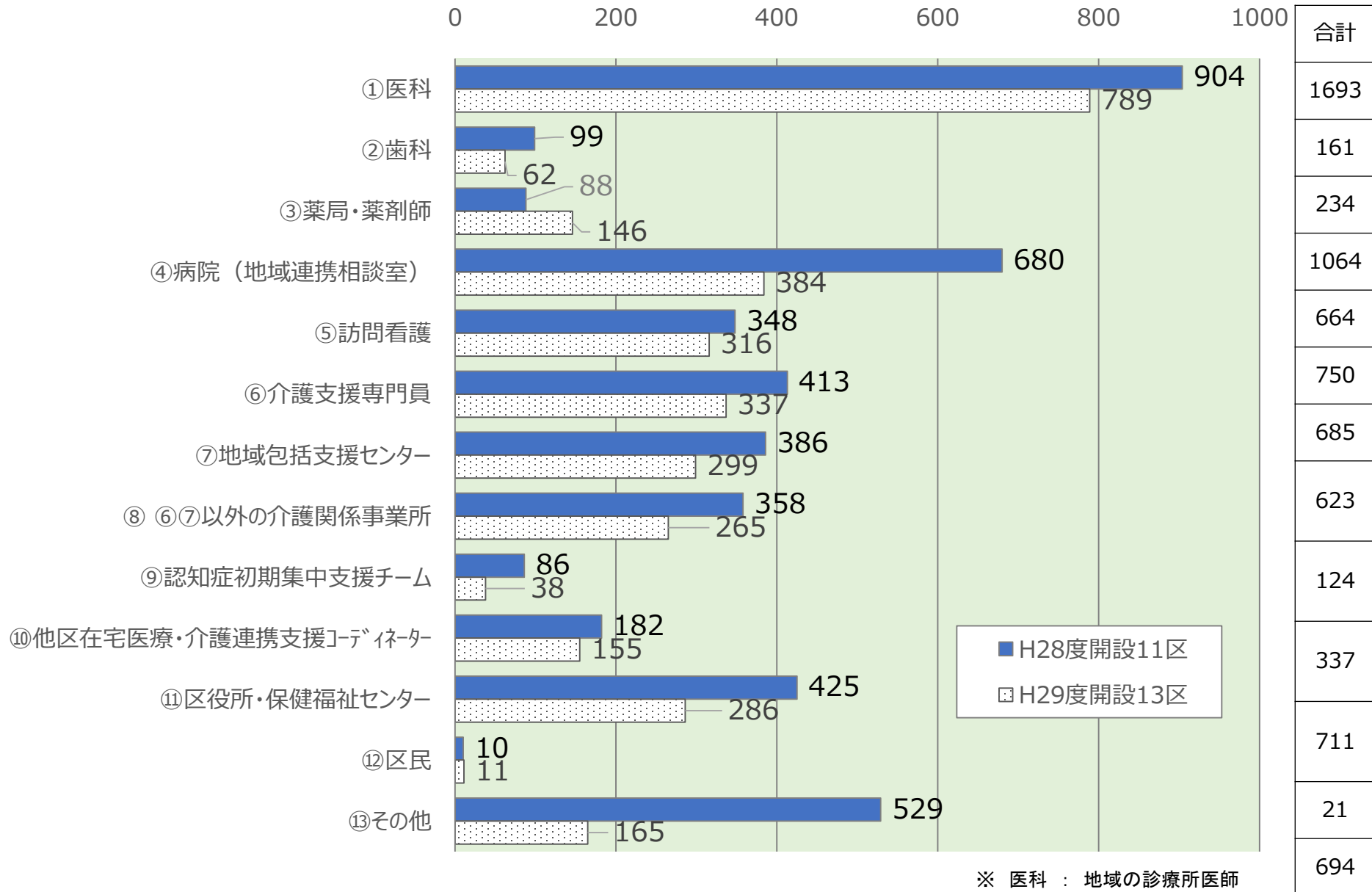
2) 内訳 個別ケース相談 (相談内容別内訳 <複数回答>)



3) 個別ケースに関する調整（調整者別内訳）



4) 医療・介護関係機者との連携に関する相談や調整・連絡 (個別ケース以外の連絡や調整、啓発や情報収集等)



5) 関係機関との会議・研修等に参加

関係機関との会議・研修等に参加		24区計	H28度開設11区	H29度開設13区
会議 出席回数		1873回	1192 回	681 回
	市・区の会議・研修会	713回	401 回	312 回
	関係機関との会議・研修会 研修会	1160回	791 回	369 回
	うち地域ケア会議	203回	136 回	67 回

関係機関との会議・研修等に参加		1区平均	H28度開設11区	H29度開設13区
会議 出席回数		78.0 (16～217)	108.4 (45～217)	52.4 (16～86)
	市・区の会議・研修会	29.7 (0～110)	36.5 (12～110)	24.0 (0～48)
	関係機関との会議・研修会 研修会	48.3 (8～124)	71.9 (26～124)	28.4 (8～43)
	うち地域ケア会議	8.5 (0～32)	12.4 (3～26)	5.2 (0～32)

課題

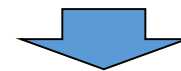
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



【課題】

- ・ 関係機関との連携・協力
- ・ 把握する目的の明確化
- ・ 定期的な更新の検討

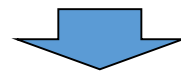
(カ) 医療・介護関係者の研修



【課題】

- ・ 顔の見える関係構築のためにも継続的な研修の実施が必要

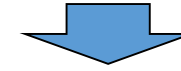
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討



【課題】

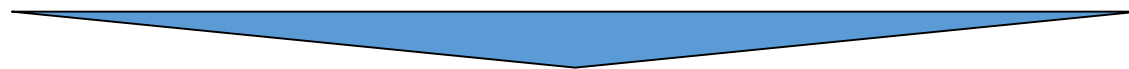
- ・ 目標設定・取組評価・進捗管理のPDCAを踏まえた会議の開催が不十分
- ・ 区内病院の参画が少ない

(キ) 地域住民への普及啓発



【課題】

- ・ 医療・介護関係者と協議し、区の特성에応じた普及啓発の継続的实施が必要



- 推進会議におけるPDCAの推進と対応策の具体化
- 在宅医療・介護連携会議への病院関係者等の参画の検討
- 多職種研修会や市民啓発の継続的な実施

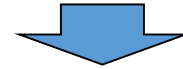
(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進



【課題】

- ・ 地域の実情や課題に応じて、関係機関の協力・理解を得ながら、優先順位の高い課題の検討や取組みを進めることが必要

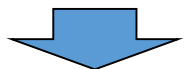
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援の取組状況について



【課題】

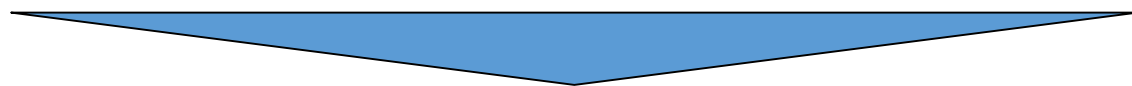
- ・ 医療に関するコーディネートを行うためのスキルアップが必要
- ・ 歯科・薬局の相談件数が少なく、より一層の関係構築の推進が必要

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援



【課題】

- ・ 地域のニーズをふまえた効果的なツールのあり方の検討が必要



- 地域のニーズを把握し、課題に応じたPDCAの推進と対応策の具体化
- 課題を解決するには、在宅医療・介護連携支援コーディネーターのみで実施できることではなく、受託法人のバックアップのもと、関係機関との協働による取組みが必要